

① **個人番号カードに健康保険証の機能を持たせる** 【2017年7月以降(※)できるだけ早期】

→ 医療機関等の事務の効率化に資する。

② **医療連携や研究に利用可能な番号の導入**

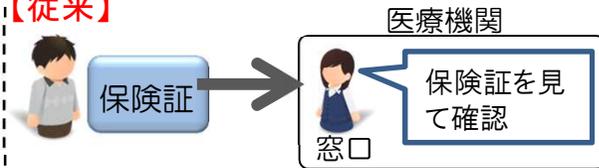
【2018年度から段階的運用開始、2020年の本格運用を目指す】

→ 医療機関や研究機関での患者データの共有や追跡が効率的に実施でき、医療連携や研究が推進される。

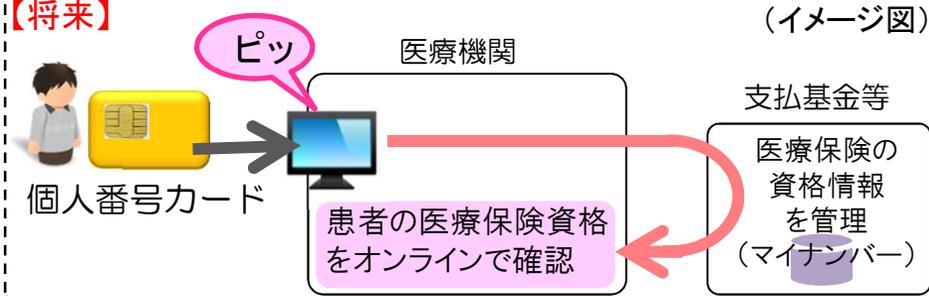
① 個人番号カードに健康保険証機能を付与

○ 個人番号カードで、医療機関の窓口での医療保険資格の確認ができる仕組みを構築する。(オンライン資格確認)

【従来】



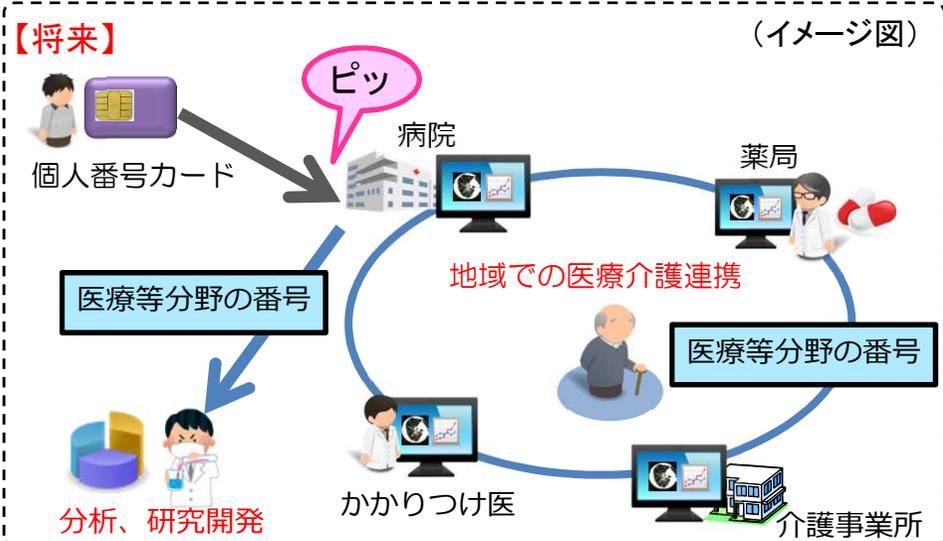
【将来】



② 医療連携や研究に利用可能な番号の導入

○ 病院、診療所間の患者情報の共有や、医学研究でのデータ管理などに利用可能な番号を検討、導入
【制度設計について2015年中に検討・一定の結論】

【将来】



※2017年7月から、マイナンバー制度による、医療保険者や自治体間の情報連携が開始される予定。